

会 議 録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-3981-4201

附属機関又は 会議体の名称		平成 22 年度 政策経営会議（第 13 回）
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		平成 22 年 11 月 5 日（金） 午後 3 時 00 分～3 時 30 分
開催場所		区長応接室
議題		1. 平成 22 年度豊島区補正予算（案）について 2. 家電エコポイントの活用について
公開の 可 否	会 議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第 7 条各号に掲げる非公開情報に該当する事項について審議等を行うため。
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	区長・副区長・教育長・政策経営部長・総務部長・施設管理部長・ 企画課長・財政課長・行政経営課長（欠席）・区長室長
	説明者	財政課長、財政係長、会計管理室長
	事務局	企画課企画担当係長

審議経過

案件 1 : 平成 22 年度豊島区補正予算 (案) について

(1) 案件の説明

一般会計補正予算 (第 3 号) 2,954,464 千円、債務負担行為の補正、変更 1 件、追加 43 件を第 4 回定例会に提案したい。

(2) 主な意見と質疑

説明者：債務負担行為の追加のうち 38 件については、23 年度の年間契約案件であり、契約事務を効率的に進めるため、第 4 回定例会終了後、契約手続きを行うということで債務負担行為を設定するものであり、昨年度よりこのような形で行っている。

区 長：生活保護法に基づく保護費として見込額の増に伴う追加経費で 2,526,859 千円となっている。一方、諸支出金では平成 21 年度分の生活保護費精算に伴う返納金として 116,266 千円となっているが、これはどういうことか。

説明者：21 年度見込みで申請したものを精算して返納するものである。

区 長：伸び率を高めに見込んでいたということか。

説明者：そういうことになる。

(3) 結論

平成 22 年度 豊島区補正予算 (案) を第 4 回定例会に提案する。

案件 2 : 家電エコポイントの活用について

(1) 案件の説明

本区において購入する家電製品のエコポイント数は、現時点では、1,289,000 ポイント (1 ポイント=1 円) となる見込みであるが、近日中に交換商品の申請手続きを開始することから、区としての活用方法を検討、決定したい。

(2) 主な意見と質疑

説明者：書類の揃ったものから順次申請手続きを行いたい。交換商品の中で区民に説明しやすい、また、区民に還元できる使い道にすることが必要である。

副区長：図書カードがいいのではないかと。学校の図書に充てられる。

区 長：各校でどれくらいになるのか。

説明者：区立学校 (幼小中) に均等に配分すると 1 校当たり約 37900 円となる。

教育長：学校で不足する図書に充当できるということであればいくらでも利用したい。

副区長：配分の仕方は教育委員会に任せるといいのではないかと。

(3) 結論

本区において購入する家電製品のエコポイントについて、交換商品は図書カードとし、具体的な活用は教育委員会に委ねる。

会議の結果	1. 平成 22 年度豊島区補正予算(案)について 2. 家電エコポイントの活用について ⇒決定 ⇒決定
-------	---

提出された資料等	1. 平成 22 年度豊島区補正予算 (案) 平成 22 年度豊島区補正予算 (案) 説明用資料 2. 家電エコポイントの活用について
----------	---